

Business Plan Contest 2019

UBE START UP ビジネスプランコンテスト 2019 募集要項

1 趣旨

地域が抱える課題を経済性・発展性・斬新性を持つビジネスの手法により解決する事業プランを募集し、優れたプランは市が事業化を支援することで、地域課題の解決を図るとともに、地域における新たなビジネスの創出・育成を図ります。

●本コンテストでは、優秀なプランを「絵に描いた餅」に終わらせることなく、コンテスト終了後、市職員とともにプランをブラッシュアップし、事業化します。(プラン実現に向けて、応募者はプレイヤーとして行動していただきます。)

2 応募要件

〔一般部門〕

- ・市内外を問わず、宇部市の地域課題の解決に情熱をもって取り組む個人・法人など。(組織の法的な形態は問いません。)
- ・市外からの応募は、宇部市内での事業展開、又は市内事業者との連携を前提としたビジネスプランであること。
- ・応募時点で、応募者は応募プランの事業を開始していないこと。

〔学生部門〕

- ・学校教育法に規定する大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校に在籍する学生(聴講生は除く)であり、宇部市の地域課題を解決するビジネスプラン(ビジネスアイデアを含む)を考えている方(住所は問いません。)

●学生であっても、起業を計画しており、自らがプレイヤーとして、プランの実現に向けて情熱を持って取り組む意志のある方は、「一般部門」への応募が可能です。
●他のビジネスプランコンテスト等において、すでに受賞されたプランは応募できません。

3 募集テーマ

宇部市を舞台(フィールド)に展開する、以下の事業プランを募集します。

- (1) 宇部市の現状や問題点等を踏まえ、地域課題の解決策を提案する「**課題解決型プラン**」
- (2) 課題を強みに変え、宇部市の未来をデザインし提案する「**未来創造型プラン**」

※この2つの内容を兼ねたプランであっても構いません。

【主な地域課題(別紙参照)】

- ①農林水産業の振興
- ②商業の振興
- ③アート分野の産業化
- ④プラスチックごみの削減
- ⑤次世代交通システムの推進
- ⑥共生社会づくりの推進
- ⑦その他

【参考サイト】

宇部市の現状や施策等については、下記サイトをご参照ください。

○宇部市HP

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/>

○計画・施策

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/keikaku/index.html>

○統計

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/toukei/index.html>

○財政・予算

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/zaisei/yosan/index.html>

○地域計画

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/shiminjinken/community/tiikikeikaku/kakukouku.html>

○オープンデータカタログサイト

<http://odcs.bodik.jp/352021/>

○地域経済分析システム(RESAS)

<https://resas.go.jp/>

4 表彰

(1) 一般部門

- ・最優秀賞：賞金 50 万円(1 件)
- ・優秀賞：賞金 20 万円(1 件)

(2) 学生部門

- ・最優秀賞：賞金 10 万円(1 件)
- ・優秀賞：賞金 5 万円(1 件)

(3) 特別賞(一般・学生部門共通)

- ・IoT・アプリ特別賞：賞金 10 万円(1 件)

●受賞プランはもとより、優秀なプラン(市政に有益と考えられるもの)については、プランの事業化に向けて、市が支援します。

5 応募方法

(1) 提出方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、提出先に郵送又はメールで申し込むか、直接ご持参ください。

(2) 提出先

- ・郵 送：〒755-0045
山口県宇部市中央町三丁目 13 番 7 号
カーサ合歓 1 階
うべ産業共創イノベーションセンター 志 苑
- ・メール：ubesta@aurora.ocn.ne.jp

(3) 提出期限

令和元年 11 月 1 日(金) 午後 5 時必着

6 審査

一次審査及び最終審査を経て、受賞者を決定します。

(1) 一次審査(書類審査)

応募プランの中から最終審査に進むビジネスプラン 8 件程度(一般部門 5 件、学生部門 3 件)を書類審査で選定します。

- ・審査結果:11 月上旬(文書により応募者に通知)
- ・1 次審査通過者向けにプレゼンテーションスキル向上のためのセミナーを実施

(2) 最終審査(公開プレゼンテーション)

1 次審査を通過した 8 件の中から公開プレゼンテーションにて入賞者を決定します。

- ・開催日：令和元年 11 月下旬
- ・開催場所：うべスタートアップ
- ・審査結果：当日発表し、表彰式を実施

(3)審査基準

- 課題解決度・地域貢献性
- 新規性・独創性
- 市場性、実現可能性
- 事業継続性・収益性
- 革新性・社会的インパクト
- SDGs の実現に向けた貢献度 など

7 留意事項

(1) 当コンテストへの参加に要する経費は応募者負担とします。

(2) 一次審査を通過したプランの概要や応募者名等は、うべスタートアップHPなどで公表します。

(3) 応募いただいたプランの知的財産権は原則として応募者に帰属しますので、応募者の責任で法的対策をした上で、公表しても差し支えない程度で応募してください。

(4) 応募内容が第三者の知的財産権(特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権)等に損害を与えた場合は、応募者自身が自己責任において解決してください。

(5) 応募資格又は法令等に違反する事項があった場合、反社会的勢力との関係が明らかになった場合には、その時点で失格又は受賞取消とする場合があります。

(6) 提出された応募用紙は返却しません。また、審査等に関する個別の問い合わせにはお答えできません。

(7) 各賞(最優秀賞、優秀賞及び特別賞)については、審査結果によって受賞者なしの場合もあります。

8 問い合わせ

うべ産業共創イノベーションセンター 志
(うべスタートアップ)

〒755-0045

宇部市中央町三丁目 13 番 7 号

TEL 0836-39-5010

URL:<https://ube-startup.com>

E-Mail: ubesta@aurora.ocn.ne.jp

Business Plan Contest 2019

地域課題テーマ

UBE START UP ビジネスプランコンテスト 2019 では、宇部市をフィールドに、地域の課題解決を目指すプランを幅広く募集します。

本市の主な地域課題の概要については、以下のとおりです。

① 農林水産業の振興

ア 農業

〔現状〕

●本市では、農家数や農業就業人口が年々減少する一方で、農業従事者の高齢化率は10年前と比較すると約9%上昇している。また、有害鳥獣による被害が年々増加している。

●市域内に約220haの遊休農地が生じており、これを解消するため、戦略的作物（お茶、オリーブ、トマト、花き）の生産・ブランド化に取り組んでいる。

●集落営農法人や企業の農業参入、新規就農者への経済的支援等に取り組んできた結果、チャレンジ意欲旺盛な若手就農者や地域農業を守る集落営農法人等が増えている。

●新たな担い手の参入を更に加速するため、2018年度から、ICT・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の取組を進めている。

〔課題〕

- 新たな担い手の確保・育成
- 有害鳥獣による農業被害の減少
- スマート農業の促進

〔方向性〕

●多様な担い手を確保し、遊休農地の解消や農地の集団化、雇用の創出など、生産から販売まで一貫したアグリシステムの構築

- 効果的・効率的な有害鳥獣対策システムの構築
- ICT・IoTを活用した、誰もが取り組みやすい「儲かる農業」の実現

【関連サイト】

○宇部市の農業

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/nougyou/nougyoushinkou/nougyouhajimeru.html>

○有害鳥獣捕獲

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/nougyou/choujuuhigai/hokaku.html>

イ 林業

〔現状〕

●市内には豊富な竹資源を有しているが、その資源が有効に活用されていない。また、管理の行き届かない竹林が、隣接地へ侵入するなどの弊害が生じ、里山景観が悪化しつつある。

●2016年、官民共同で「山口うべ竹エコシステム協議会」を設置。タケノコのブランド化や竹材活用のための供給システムの構築を推進している。

●2019年2月、民間事業者と竹に関する連携協定を締結。市内北部地域に活動拠点を設置し、竹資源や人材のマッチング、商品化や事業化等に取り組んでいる。

〔課題〕

●竹資源を活用したまちづくり（北部地域における竹推進拠点の事業拡大）

●タケノコ生産の安定化や買取価格の高価格化

●竹材の搬出・買取システムの構築

〔方向性〕

●増え続ける竹資源を活用した商品開発やビジネス化

●竹資源・人材のマッチングやコラボレーション推進の仕組みづくり

【関連サイト】

○山口うべ竹エコシステム協議会

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/brand/seido/ymubetake/ymubetake.html>

ウ 水産業

〔現状〕

●小型機船底引網漁や海苔養殖業が盛んであり、ハマやレンチョウなどの底生魚類の他、ワタリガニやエビなどの瀬戸内海有数の産地となっている。

●2013年の漁獲高は1,253トン。1983年の11,073トンに対し、30年間で約1割まで減少し

ている。

●漁業権経営体数の減少（ピーク時から58%減少）と高齢化（60歳以上の高齢者率57.1%）による深刻な担い手不足。

●漁業経営基盤の近代化により、GPS 魚探装備が普及し、操業において一定の効率化は図られているが、効果としては頭打ちの状態である。

〔課題〕

●漁業経営の近代化

(ICT の活用による操業の効率化：情報の蓄積・共有化)

●漁業資源の確保

(ICT の活用による適切な資源管理)

●担い手の確保・育成

(儲かる漁業、漁業の成長産業化)

〔方向性〕

●少子高齢化等に伴う担い手不足が進行する中で、漁業経営の近代化や担い手の確保など、持続可能な産業への転換

【関連サイト】

○宇部市の水産業

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/suisangyou/index.html>

○水産政策の改革について(水産庁)

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/kaikaku/suisankaikaku.html>

② 商業の振興

〔現状〕

●本市では、中小小売業の振興策として、販路拡大や商店街振興、事業資金融資など、様々な施策に取り組んできた。

●しかし、人口減少や買物動向の多様化等により、小売業は2014年7月時点、市内事業所1,098、従業者数7,866人、年間商品販売額1,522億円であり、20年前と比較すると、事業所数は半数以下、従業員数は3割減、年間販売額は2割減となっており、本市の商業を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

●特に商店街では、経営者の高齢化と後継者不在により、空き店舗・空き地化が進み、また、中心市街地でも大型商業施設が閉店し、いわゆる買い物難民が発生するなど、まちなかの活力低下が懸念されている。

〔課題〕

●ニーズに応じた魅力ある商店街づくり

(回遊性を意識した店舗の配置、魅力ある商品開発・店舗、キャッシュレス化など)

●にぎわいを創出するイベントなどの開催(フラワーロード化、ポイント還元など)

●若い経営者が挑戦できる環境づくり

〔方向性〕

●多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を踏まえた、未来志向の新しい商店街への変革

●地域に「求められる商店街」と稼げる商業の両立

【関連サイト】

○宇部市の商業

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/shougyou/index.html>

○「新たな商店街政策の在り方検討会(中間取りまとめ)」(中小企業庁)

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/arikatamentou/2017/170705torimatome.pdf>

③ アート分野の産業化

〔現状〕

●1961年より続く世界で最も歴史のある野外彫刻展「UBE ビエンナーレ」を開催している。

●歴代の入賞作品などを市街地や公園等のまちなかに設置し、200点を超える野外彫刻による文化あふれる景観、緑と花と彫刻が調和した景観づくりを進めている。

●国内外の都市との彫刻を通じた文化交流、市内小中学校での「彫刻教育」を実施している。

●学生や企業とのコラボによるイルミネーションコンテスト「TOKIWA ファンタジア」を開催している。

●山口大学や宇部高専との連携により、地域イノベーション人材の育成を推進している(「テクノロジー×アート・チャレンジ講座」の開講)。

〔課題〕

●アートに関するビジネス・新事業の創出

●野外彫刻老朽化への対応

(点検・修復・移設など、彫刻のメンテナンスに関わる技術者の確保・育成)

●高い技術力を持った市内事業者の参画

(イルミネーションコンテストや「テクノロジー×アート・チャレンジ講座」へのより多くの企業の参画)

●「現代彫刻」×「ものづくりの街」のイメージ定着

●彫刻のまち・宇部の知名度の向上

●大学生等を始めとした若者の地元定着

〔方向性〕

●ものづくりの街として、市内企業の得意分野をアート制作等に活かし、産業化する仕組みを構築し、

新たなビジネスを創出

- 学生等の起業マインドの醸成を図り、若者(クリエイティブ人材やイノベーション人材)の地元定着を促進

【関連サイト】

○彫刻とうべ

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kyouyou/choukoku/index.html>

○OTOKIWA ファンタジア

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/boshuu/tokiwakoen/fantasia2019.html>

○テクノロジー×アート チャレンジ講座

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/shougyou/charennjikouza2018.html>

④ プラスチックごみの削減

〔現状〕

- 海洋上のプラスチックごみが世界規模で問題となっている中、瀬戸内海に面し、厚東川をはじめ多くの河川が流れている本市においても、この問題に積極的に取り組んでいく。

- 2009年度から、市内のスーパーなどで「レジ袋」の無料配布中止を行っているほか、リユース食器の利用促進など、ワンウェイプラスチック製品の排出抑制に向けた取組を行っている。

- プラスチック製容器包装の分別回収の徹底により、回収した量(1,177 t)のうち約 94.1%がリサイクルされている。(過去3年間平均値)

- ペットボトルの分別回収の徹底により、回収した量(436 t)のうち約 73.7%がリサイクルされている。(過去3年間平均値)

〔課題〕

- リデュースの徹底

(ワンウェイのプラスチック製容器包装・製品等のリデュースなど、経済的・技術的に回避可能なプラスチック使用の更なる削減)

- リサイクルの徹底

(使用済資源の効果的・効率的で持続可能な資源循環の徹底)

〔方向性〕

- プラスチックごみの排出ゼロを目指して、プラスチックに代わる素材や製品・サービスの開発、使用済プラスチック資源の更なる循環利用の促進

【関連サイト】

○プラスチック・スマート

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/kankyohozen/kankyokyouiku/plasticssmart/index.html>

⑤ 次世代交通システムの推進

〔現状〕

- 2019年3月に策定した「宇部市立地適正化計画」に基づき、中心市街地や地域の拠点等の求心性を高め、それらを鉄道やバス、地域内交通などの公共交通で結ぶ「多極ネットワーク型コンパクトシティ」への転換を進めている。

- 高齢者や学生等にとって、公共交通機関は重要な移動手段として機能している。

- 北部の中山間地域では、住民の移動を生活交通バスやデマンド交通などで対応している。

- 「宇部市交通創造コンソーシアム」を設置し、支えあい交通システムや まちなかモビリティマネジメント、自動運転車を活用したまちづくりなどに取り組んでいる。

- 次世代交通システム(BRT 等)の導入を検討している。

〔課題〕

- 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指し、まちづくりと交通政策を一体化させた「交通まちづくり」の推進

- 地域特性に対応した便利で使いやすい公共交通システムの構築

- 利用者の増加・運転士の確保等による路線の維持

〔方向性〕

- 路線バスをはじめとした市内公共交通の利便性向上
- 長期的視点に立った、新たな発想に基づく持続可能な次世代公共交通システムの構築

【関連サイト】

○宇部市の公共交通

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/koutsuuchushajou/koukyoukoutsuu/index.html>

⑥ 共生社会づくりの推進

〔現状〕

- 地域では、認知症や独居高齢者(世帯)、引きこもりの子どもの増加など、これまでの福祉サービス等の提供だけでは対応できない問題が増えている。

- 様々な問題解決のために、地域が主体となって、有償ボランティアによる生活支援や集いの場での地域交流、見守りの声かけ訪問などを進めてきたが、地域での担い手が不足している。

- また、地域でのつながりが希薄化しており、老人クラブや子ども会の加入者の減少や活動の中止、自治会からの脱会なども生じている。

●一方で ICT・AI 化が進んでいるが、それに適応できず、人からも物からも情報を得ることができない高齢者や障害者、生活困窮者など、情報格差による弊害が懸念される。

〔課題〕

- 地域支え合いの仕組みの構築
- 支え合いの担い手の確保
- 誰もが高度化した ICT 社会に取り残されないような仕組みづくり

〔方向性〕

- 地域課題解決のための担い手の育成とニーズとのマッチング
- 高齢者や障害者であっても、高度化・加速化する ICT・AI 化に対応でき、安心・安全に暮らすことができるシステムの構築

【関連サイト】

○高齢者福祉

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kenkou/koureifukushi/index.html>

○その他の福祉

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kenkou/sonota/index.html>

⑦ その他

●①～⑥以外の分野であっても、本市の現状を踏まえ、解決すべき課題を見出し、その解決を目指す事業プランがあれば、「⑦ その他」として応募してください。

【関連サイト】

○宇部市HP

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/>

○計画・施策

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/keikaku/index.html>

○統計

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/toukei/index.html>

○財政・予算:

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/zaisei/yosan/index.html>

○地域計画(各校区)

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/shiminjinken/community/tiikikeikaku/kakukouku.html>

○オープンデータカタログサイト

<http://odcs.bodik.jp/352021/>

○地域経済分析システム(RESAS)

<https://resas.go.jp/>